

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報 (A) 平3-8967

⑫ Int.CI.⁵
 E 04 F 15/02

識別記号 廷内整理番号
 C 7805-2E

⑬ 公開 平成3年(1991)1月16日

審査請求 未請求 請求項の数 32 (全8頁)

⑭ 発明の名称 床張り板及びその床

⑮ 特 願 平2-131117

⑯ 出 願 平2(1990)5月21日

優先権主張 ⑰ 1989年5月22日 ⑱ イタリア(I.T.) ⑲ 20594A/89

⑳ 発 明 者 カミロ・ザングランデ イタリア共和国ミラノ, ヴィア・アセリ 25
イ

㉑ 出 願 人 アルティゴ・ソチエ イタリア共和国ミラノ, ピアツツアレ・カドルナ 5
タ・ペル・アツイオーネ

㉒ 代 理 人 弁理士 潤浅 勝三 外4名

明細書

1. (発明の名称)

床張り板及びその床

2. (特許請求の範囲)

1. 単色の塑性材料からなるスラブであって、はね均等なパターンを有し、フロア張りの一部を形成するように複数されたベース表面を備え、前記スラブがグループを構成するように相互に間連付けられた多数の細長いレリーフを含み、前記レリーフのいくつかのグループが、前記スラブに作用する先を異なる方法で反対するように、他のグループのレリーフと異なるように配列されているスラブ。

2. 請求項1に記載のスラブにおいて、隣接する二個のレリーフの間の間隔が0.4 mmないし3 mmであるスラブ。

3. 請求項1あるいは2に記載のスラブにおいて、前記レリーフの前記ベース表面に対する相対的な高さが0.2 mmないし1 mmであるスラブ。

4. 請求項1、2あるいは3に記載のスラブに由

いて、いくつかのグループの筋記レリーフが他のグループのレリーフに対し、20度ないし160度の範囲の角度で相対的に傾斜しているスラブ。

5. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが少なくとも、それぞれがレリーフを備えた3個のグループから形成されたベースモジュールを備えており、筋記モジュールが前記プレートの全体にわたり反復され、前記3つのグループの少なくとも1つが他の2つのグループのパターンと異なるパターンを有するスラブ。

6. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが少なくとも前記スラブの全体にわたり反復されたベースモジュールを備え、前記モジュールがレリーフを備えた数個のグループから形成され、前記ベースが少なくとも、相互に対角な中央軸線及び対角線により形成されたほぼ方形のメッシュを有するネット内側にあり、前記グループが少なくとも前記軸線及び対角線の間に配設されているスラブ。

7. 請求項1に記載のスラブにおいて、中央のグ

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION

特開平 3-8967(2)

ループが両記述シユールの内側に配置されているスラブ。

8. 前記耐候性上の端のグループのレリーフが前記対角線上に配置された端のグループのレリーフと異なるパターンを有するスラブ。

9. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記スラブが前記耐候性上及び対角線上に配置された端の端のグループに対して1つの中央グループを備えてなり、前記中央のグループのレリーフが前記端の対の少なくとも1つと同じパターンを有するスラブ。

10. 請求項8に記載のスラブにおいて、前記レリーフのグループのレリーフが前記スラブを形成する端に向って傾斜しているスラブ。

11. 請求項6に記載のスラブにおいて、対角線上にある前記端のグループのレリーフと、前記耐候性上にある前記端のグループとが前記スラブの外形側面の1つに対し相互に対称的に傾斜しているスラブ。

12. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記外

角線上にある前記端のグループのレリーフが、前記耐候性上にある前記端のグループのレリーフと直角であるスラブ。

13. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記対角線上にある前記端のグループのレリーフが前記対角線上の1つと同じ方向を有するスラブ。

14. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記耐候性上にある前記端のグループのレリーフが前記対角線上の1つと同じ方向を有し、前記対角線上にある前記端のグループのレリーフが他の対角線のそれと同じ方向を有するスラブ。

15. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記ベース表面の一端であるストライプにより相互に分離されたレリーフを備えた前記多段のグループを備えてなるスラブ。

16. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが隣接するグループの中間に隆起部を備えてなるスラブ。

17. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが隣接するグループの中間に配置された埋め

3

4

込まれたピースを備え、前記グループの平坦な頂部表面が前記ベース表面とは異なる方式で仕上げられているスラブ。

18. 請求項15に記載のスラブにおいて、前記埋め込まれたピースが隣接するグループの外側側面に平行な側面により形成されているスラブ。

19. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループの範域と前記ベース表面との間の比率が0.4ないし0.6の範囲にあるスラブ。

20. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループが多角形の形状により形成されているスラブ。

21. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記グループ内の前記レリーフが相互に平行であるスラブ。

22. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループが平行かつ相互に同一であり、前記レリーフのピッヂアが1.5 mmないし3 mmの範囲にあり、レリーフの方向に対し直角に割

定したレリーフのグループの最大寸法が±0.05mmないし25%の間に含まれるスラブ。

23. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが方形の表面を有し、前記方形のいずれかの対角線の方向のレリーフを有するグループと残りの対角線の方向のレリーフを有するグループとが設けられているスラブ。

24. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記ベース表面がなめらかであるスラブ。

25. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記ベース表面が多数の均一に配置された埋め込まれたピースを備えてなるスラブ。

26. 請求項25に記載のスラブにおいて、前記スラブが、各埋め込まれたピースの自由端から始まる前記多数のレリーフを備えてなるスラブ。

27. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記ベース表面の全体形状に沿って並びる所定の幅のベースストライプを備え、前記ベース表面が残りの内部表面と異なる方法で作られているスラブ。

5

—450—

6

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION

特開平 3-8967(3)

28. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが前記ベース表面の形状の上に延びる不均等なストライプを備えてなるスラブ。

29. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記スラブの前記ベース表面のみからなる領域と互い違いになつてあるリブの形態の前記レリーフを備えた多段の領域を備えてなるスラブ。

30. 請求項29に記載のスラブにおいて、前記ベース表面だけからなる前記領域が微細粒子又は不純物などを備えているスラブ。

31. 精性・彈性材料からなるアロア被いであつて、請求項1から30までのいずれかの項に記載の前記多段のスラブを備えてなるフロア被い。

32. 請求項1に記載のフロア被いにおいて、隣接するスラブが相互に異なるフロア被い。

3. (発明の詳細な説明)

産業上の利用分野

本発明は、床張り(フローリング)用に使用される弹性材料などから製造されたスラブ(slab)に

関し、かつ前記床スラブを含む関連した床に関する。

更に詳細には、本発明は、单一色彩からなる彈性材料から製造されているけれども、異なる色相を複数した領域でフローリングするためのスラブに関する。

背景の説明

スラブ、プレート、タイル、その他の同様の材料を使用してなす広範囲のフローリングは、当著者に公知である。

例えば、フランス特許申請第5,124,821号明細書は、相互に一体成形されたゴム又は合成材料の間連する2層により製造され、つぎに該2層内に多段のピースが埋め込まれ、最後に、上部層と異なる色相を有する低部層の色を示すように、埋め込まれたピースの領域で上部層から弾性材料を除去するようになされた床を開示している。

同様に、その他の物の間にあって使用されている解決法は、例えば米国特許申請第2,915,783号申請書に開示されているように、埋め込まれた

7

8

ピースが切断されているゴムの層がある色のペンキにより覆われているものである。次に、該埋め込まれたピースの頂部で該ペンキを研磨して、埋め込まれたピースと残っている外側表面との間の異なる色を浮き上がらせる。

同様に、米国特許申請第4,731,138号申請書においても、多段の埋め込まれたピースの配列のため相互に型板に形成された異なる色彩の間連する2層により製造されたゴム床張り板が知られている。

その後、該型板から除去された製品は2つの適当なプレートの間に圧縮状態で壓かれ、圧縮状態のままで切断装置へと、埋め込まれたピースを被覆している上部層を除去するために該プレートに平行に送られる。

発明が解決しようとする課題

公知の実施例はすべて、研磨及び切断工具の使用及び、一般に上部被覆層のそれとは異なる低部層の色彩を露出させるためにいずれかの材料を除去するための適当な道具を必要とする。

しかしながら、切断作業は埋め込みピースの頂部を形成する、不均等な縁の形成を生ずる可能性があり、切断縁が埋め込みピースの間に存在する非常に狭い時間に渡る可塑性があり、これが、作業箇所の存在のせいで製品の美的品質を損なわないようにするための清掃作業を困難にし、複雑にする。

公知のプロセス及び実施例のその他の欠点は、外側表面に記録された異なる色彩によって、各スラブ又はフロアのために数種のゴムの合成物を使用する必要があるという事実である。

不幸なことに、異なる色彩を造成するための前記合成物を多様化することは、所望の色彩に至るために数種の試験を含む異なる構成のみならず、変換させた製品を追跡して蓄積することを必要とし、最終的には費用が高くなる。

公知の実施例に開示するその他の欠点は、1種類の他に対する異なる色彩が、材料の劣化のせいでの時期の経過に従い、劣化を生ずる可塑性があることである。これは下記の目で見える結果が所望の

9

—451—

10

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION

特開平 3-8967(4)

それと異なる外観を生ずるような形態である。

問題を解決するための手段

本発明は、上述の欠点が全くないフローリング用スラブ又は関連するフロアを提供することを目的とする。

そのため本発明の目的は、ほぼ均一なパターンを有し、該フロア被いの一部を形成するように設計されたベース表面を備える単色弹性材料などでつくられたスラブを提供することであり、即記スラブが多數の細長いレリーフを含み、それらが相互にレリーフのグループを形成し、その中で該レリーフのグループが該スラブ上に作用する光を異る方法で反射するように他のレリーフと異なるよう配置されている。

実施例

第1図において参照番号1により同定されているのが他のスラブとともにフロアを形成するために設計されたスラブの部分であり、例えば市民用、産業用建物、橋会のフロア、待合室又は公共の建物などがある。

1-1

が触感aに対し同一の方向及び状態で傾斜しており、これに対して、対角線c及びdの端点に配置されたグループ4、17及び2、18、は、前のレリーフ好ましくは触感a及びb端点のレリーフのそれに對し交差する方向のレリーフ3を含む、対角線c及びd上のレリーフは、触感aに対し相互に對照的に傾斜している。

他の好ましい実施例においては、第1図に示されているスラブ1は、対角線c及びdの端に配置されているグループに属するレリーフと同じ方向に配置されたレリーフ3が形成された中央グループ8を備えてなる。

レリーフの配列が異ると、異なる光の反射が生じ、上述のように、単色スラブの色彩に色相の変化が生ずる。

第1図のスラブ部分1は、スラブの長手方向及び横方向の延長全部にわたり反転するバターンのベースモジュールから構成され、又は代替的形態として、相互に異りかつ前記スラブ上で反転される数個のモジュールが使用可能である。

1-3

スラブ1は単色の粘弹性材料から製造される。

これ以後、「粘弹性材料」の用語により、弹性ポリウレタン、熱可塑材料などのような公知のフローリングを使用可能な通常の材料すべてを指す。

單色の弹性複合材からなるスラブ1は方形のベース表面2とスラブ表面から突出する長手方向のリップの形態の多數の細長いレリーフ3とを備える。

本発明の基本的特徴は、レリーフ3のグループの構成、及び含まれる前記レリーフが、そこに作用する光を異なる方法で反射するように他のグループのレリーフと異なる方向を有するような前記グループのいくつかの配列の両方である。

第1図に示された解決法及び上述の一般的原理に基づきいた可憐な実施例は、参照番号4ないし12により同一と見なされた複数のグループを形成することからなる。

垂直な軸線e及びfの端点に配置されたグループ5、11、及び7、9、レリーフ3を含み、これ

1-2

それ自身の上に巻き付けられるために使用される形態のフロアは、同一のスラブか又は相互に異なるスラブから構成可能である。

1つの実施例に従えば、異なるグループのリップ3は相互に平行であり、およそ0.1 mmないし3 mmの範囲のピッチ値を有し、最大限0.1 mmないし1 mm、好ましくは0.1 mmないし0.7 mmの範囲に含まれる高さを有する。

前記レリーフが同じ高さであるため、それらの間の適切な距離、リップ3の高さを低めること、前記スラブ上の所定の延長範囲などが、異なる視覚的に目される色相を有するスポットを生ずるように、光を反射する実験を伴う。

隣接するグループのリップの間の傾斜角度の値は20度ないし180度が好ましい。

その他の好ましい実施例によれば、側面1 cmの方形のスラブのベースエレメントにおいては、リップの数は6から3まで変更可能であり、一方でリップの厚さは0.2 mmないし3 mmの間に維持される。

—452—

1-4

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION

特開平 3-8967(5)

5mmないし6cmの側部を有する方柱のスラブ、又はそれの2倍、3倍及び4倍である、エレメントの最大値と最小値とは、以後第1図に示されているモジュールに開拓して御示の方法で与えられる。

- リブの厚さ $t = 0.2 - 1 \text{ mm}$,
- リブのピッチ $P = 1.5 - 3 \text{ mm}$,
- ベース表面 2 からのリブの高さ = 0.5 mm,
- グループごとのリブの数 = 14-28,
- グループ内の最大寸法 $L = 20 - 25 \text{ mm}$,
- リブで被われた表面面積とスラブの全表面との比 = 0.4 - 0.8.

第1図に示されているように、その他の可能な実施例においては、あるレリーフのグループは、ベース表面 2 の一部分であるストリップ又は範囲 13、14、15により相互に分離され、そのベース表面 2 は、起始部 16 の頂部と対照的に光沢ある傾斜に開拓点 (origin) を与えるように、不均等性がなく、その陰起部 16 の外形は隣接するレリーフのグループの外形と平行である。

15

完全な状態で収束し、そのため既に示されているように、本発明により達成された光学的効果は、それは仮説の助けによってのみ説明可能である、ということは当著者には既に明白である。

可能な仮説によれば、光の方向は、第1図にある矢印 P の状態及び方向にある成分でスラブに作用し、かつレリーフ 3 により生ずる光の仮説的反射 (反射) は同じ図面に示されている反射面の位置に配置された観察者 A 及び B にとって明らかのように、単に因式的かつ表示的方法であると考察される。

前記仮説によれば、グループ 4 及び 6 に作用する光線 F は A の部分に影をつくろうとするレリーフ 3 の傾斜のせいで、いくつか B に向って反射され、A に向って遮蔽され、それに對しグループ 5 上に作用する光線は々に向って反射され、前のグループ 4 及び 6 のそれとは異なるレリーフ 3 の傾斜のせいで、B に向って遮蔽される。

実際には、前記スラブ上のある光の反射は以下の如きのように要約される。

グループを形成するストリップのなめらかさと多角形の外形の頂部との間の視覚的コントラストは、多くの方法で達成可能であるが、例えば、隣起部自体を形成するために設計された隣接部品のサンドブラストのような適当な研磨手段あるいは隣接部品の他表面に複数の不均等性を作ることで前記隣起部の頂部を钝くすることにより行う。

本発明は所定の目標を達成する。

本発明により達成された結果の説明は、ある仮説によってのみ可能である。それは、藍色、緑色又は可視性材料の光学的効果及びそのような材料上のレリーフの形状的パターンに生ずる現象はまだ完全には明白でないという事実のためにある。

それに加えて、例えば船底又は黒色の複合材により形成された第1図に示されているようなスラブ又は何種の形状によりスラブの見る領域における同一色のぼかし (graduation) の効果を達成することが可能である、ということが発見された。

実際には、黒色のボディは光を多かれ少なかれ光

16

上部において、第1図のスラブ 1 のレリーフ 4 から 11 のグループ。

下部において、符号 + (プラス) 及び - (マイナス) により、A 及び B に対して、それぞれ明るい色相を有するグループと、暗い色相を有するグループ。

4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	-	+	-	+	-	+	-	-
B	+	-	+	-	+	-	+	+

事例において最初の構造物 (starting composition) において使用されている星色は、見るレリーフ上の光の反射の見る効果により、黑とは異なる環境の下で色相を取り上げ、やや暗い灰色からセピアのような軽かい墨に変る。

A 及び B により見えるスラブ上の見る色相は第2図及び第3図に示されているが、暗いスポットは早いストライプとして示されている。

上述の因式的表と第2図及び第3図から明るように、スラブを観察する各観察者は、多かれ少なかれ交互的方式で配置される、全く異なる色彩、

17

-453-

18

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION

特開平 3-8967(6)

いずれにせよ異なる消光的外観を有する異なる顔色を見ることがある。

同一の色彩の異なる色相を有する複数の多角柱は、隣接部18が追加的に存在することにより更に増加し、該隣接部18の頂部端は非常に先鋒のあるレリーフのグループに比較して、鈍い、あるいは點消しの外見を有する。

本発明が公知の技術の欠点を克服することは明白である。

実際に上述のように異なる色の影又は色相を有するフレーリング表面を完成するために単色構造物 (composition) を使用することにより、複雑な異なる構成と、それに従って、多色構造物が使用される公知のスラブに必要な検査とが省略される。

それに加えて、本発明の単色スラブは、長い間に品質が生ずるけれども、時間の経過により異なる領域の間の色相を変化させることがなく、これに対して公知のスラブにおいては、所定の構造物における単色の劣化により他の隣接する色相との關係で、受容できないような審美的要質が生ずる。

1-9

り、1つは上述のように先の反対状態に対する原型 (origin) を与えるために使用される。次に前記スラブは他のスラブと適当な組み合せに従い組み合はされ、それにより各スラブにレリーフが組みられる傾向が、視覚的觀点から、フロア表面に同一の色の異なる色相を生ずるようになされる。

いくつかの好ましい、及び代替的な実施例が示され、説明をされたけれども、本発明はそれに限定されるものではなく、それにより当然著者に明白なすべての改良が本発明の範囲に入るものである。

例えば、スラブは第1図に示されたそれとは異なるレリーフのグループから構成することが可能であり、特にスラブは、三角形の頂点に配置された3つのレリーフのグループからなるベースをシェルを含み、少なくとも前記グループの1つが他のグループのそれと対異なるパターンを有する。

更にその上、前記レリーフは第1図とは異なる多角形の形状により形成されたグループに従い結合

接続されるべきことは、本発明のスラブとそれに関連するプロアとは、モールドによってのみ完成可能な製品であることである。実際には、外側表面の下に配置されている色相を見るようにするために、公知の技術では必要であった、それ以上の複雑な作業が必要ない。

そのため、本発明の製品では、異なるグループのレリーフとの間で製造上の不良が生じないため、露出した表面の美的受容性が確實に保護される。

本発明のスラブは第1図において、相互に異なる方向と所定の距離を有するレリーフのグループと関連して説明され、示されてきたが、この実施例の多様化は可能である。

実験に、第1図に示されたベースをシェル又はそれの一端でも、スラブの張りの部分をなめらかな表面のままにし、あるいは追加的に表面の不均等性を形成するように、同軸に微粒子を配置したままにして構成することが可能である。

一般に、スラブは少なくとも2つの傾斜からな

2-0

され得る。それは例えば八角形、円形、方形又は橢円形などである。追加的には、前記個々のグループのレリーフは、平行又は平行でない、及び/又はそれらの混合した曲線の長さにより形成可能であり、つまり曲線及び直線の長さである。

特に特徴すべきことは、異なる色彩の効果、目的物、人物、風景、樹木、花などに対応する異なるパターンを作り出すように、相互に異なるレリーフを有する異なるグループの配列が実行可能である。

様々な形態がスラブで構成可能であり、該スラブのベース表面は均一のパターンを有し、既に知られた円筒形の埋め込みビースにより形成された図形を表示し、そしてその中で、本発明の特徴に従い、前記円筒形の埋め込みビースの頂部には上述の説明に従い方向づけされたレリーフが配置されている。

なお本発明の好ましい実施例によれば、ほぼ四角形のベースモザイクが、1つの対角線に従い両端付けされた複数の対角線上のレリーフグル

3-1

-454-

2-2

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION No Rotation ▾ REVERSAL RELOAD

PREVIOUS PAGE NEXT PAGE

特開平 3-8967(7)

ブと、他の対角線上に従い方向付けられた中央斜坡上のレリーフグループとを有するスラブが考案出される。

その他の実施例においては、スラブの会員 (member) が外形の細部に沿って遊びかつ幾何のベース板面のそれよりもなめかかな表面と対照的な外見を作り出すように型の中で得られた適度な純度を有しているストライプを含んでいる。この誤法はを応用することにより、フロアを形成するために並べて配置された異なるスラブの間の境界が、より見えにくくなる。

本発明のスラブは等製又はモールプレスで製造可能であり、そこでは材料に接触する表面の1つには、完成された製品上に目で見えるよう空まれたものに対応する凹凸又はパターンが配置されていなければならない。

前記製品は個別のスラブの形態又は既に他のスラブと関連して形成された複数の異なる焼きのホールの形態で獲得可能である。

本発明の範囲に含まれているのは、前述のよう

な光の反射を生ずるよう、多段のさうざら、不均等性などの形態の細長いレリーフである。

上述の特徴と並んで、前記スラブは、前記レリーフが上述の方法で配置された場合を含むことも可能である。

その後の本発明の実施例によれば、前記スラブは四面に凹凸を有することができ、この場合、該型の上面と下面に対応する凹凸を配置する必要がある。この誤法により、使用者は2つの異なる表面を選択でき、又は1枚が摩耗した場合に同一の凹凸あるいは異なる凹凸を有する他面を使用することができる。

スラブ上の光の反射の遊びを増加するために応用される更にその他の特徴は、最初の構成要素に実行され、モールディング工程の間に実行される他の作業段階により表示可能であり、前記スラブ上の様々なレリーフグループの表面になめらかな外見を与えることにより表示可能である。

本発明の更にその他の重要な利点は、異なる実施例において説明したような、多段のレリーフが存

2.3

2.4

在する結果としてのとのスラブにより提供される、滑らない特徴である。

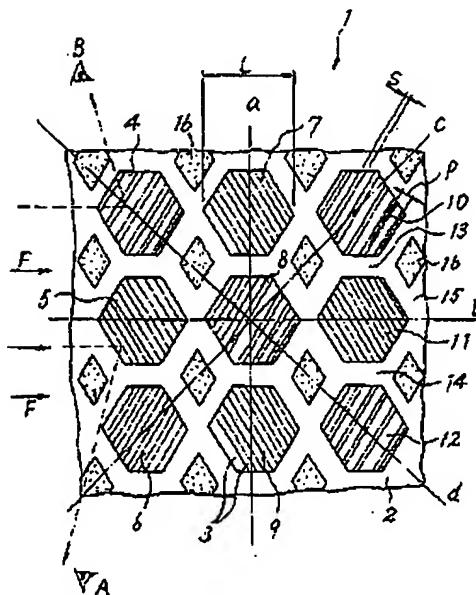
4. (表面の簡単な説明)

第1図は、本発明にしがたった正面図、第2図及び第3図は、2人が2つの反対側の位置から見た時の、光の作用に従って変化した、第1図に示されたスラブの色相の異なる事例。

1・スラブ、2・ベース表面、3・細長いレリーフ、4～12・レリーフのグループ。

代理人弁理士 沿 流 勝
(外4名)

第1図



JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION No Rotation REVERSAL RELOAD

[PREVIOUS PAGE](#)

[NEXT PAGE](#)

JP,03-008967,A

STANDARD ZOOM-UP ROTATION No Rotation REVERSAL RELOAD

PREVIOUS PAGE

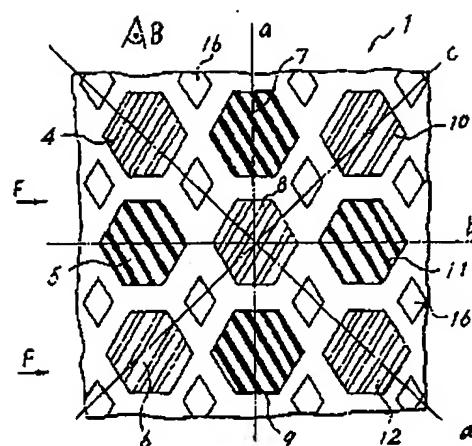
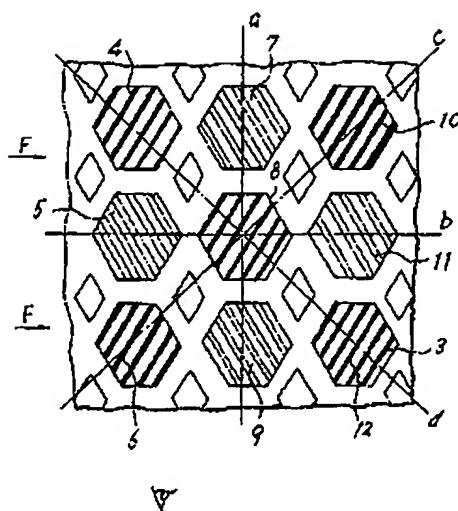
NEXT PAGE

特開平

3-8967(8)

第 2 図

第 3 図



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-008967

(43)Date of publication of application : 16.01.1991

(51)Int.Cl. E04F 15/02

(21)Application number : 02-131117 (71)Applicant : ARTIGO SPA

(22)Date of filing : 21.05.1990 (72)Inventor : ZANGRANDI CAMILLO

(30)Priority

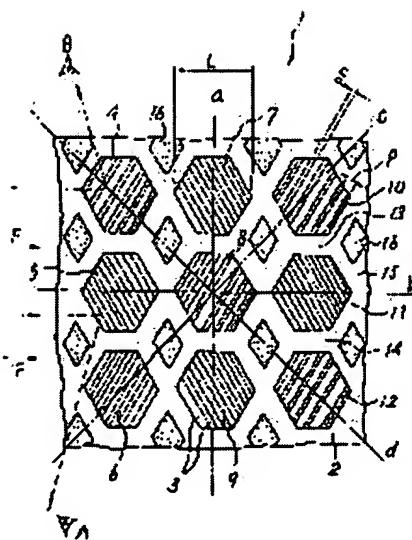
Priority number : 89 20594 Priority date : 22.05.1989 Priority country : IT

(54) SLAB FOR FLOORING AND RELATED FLOOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide optical effects using a slab made of a single-colored elastic material by making the slab include a number of elongate reliefs, and disposing groups of the reliefs so that the different groups reflect light in different ways.

CONSTITUTION: A slab 1 is formed comprising a dark-colored elastic composite material having a rectangular base surface 2 and a number of elongate reliefs 3. In this case, the slab 1 includes the reliefs 3 in groups 5, 11 and 7, 9 disposed respectively on the vertical axes (b) and (a) of the slab 1 and also include the reliefs 3 in groups 4, 12 and 6, 10 disposed respectively on diagonals (c) and (d) to the groups 5, 11 and 7, 9 and crossing the axes (a) and (b), respectively. The groups of different reliefs are aligned in such a manner that ribs of the different groups have pitches in the range of about 0.4 to 3 mm and form different patterns. Different effects can thus be obtained depending on the reflection of light.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]